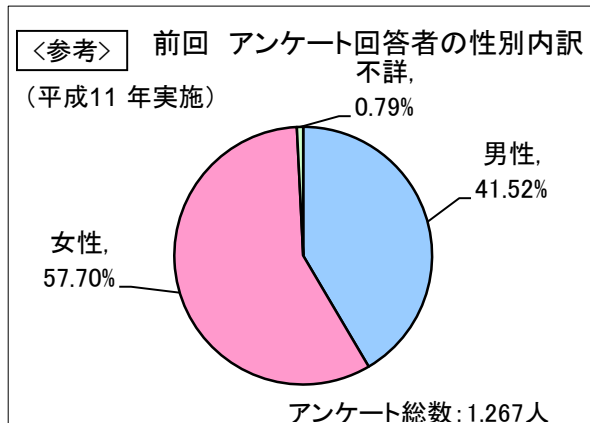
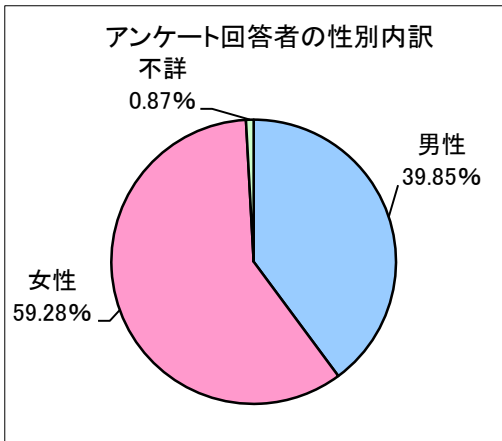


区民アンケート実施結果について

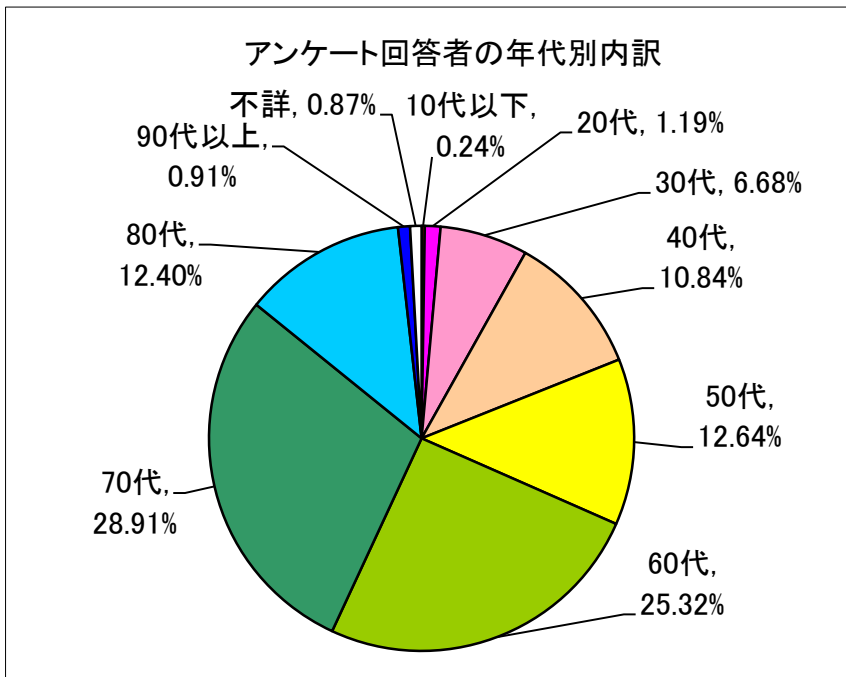


アンケート総数

はがき(広報すぎなみ)	4,923人
インターネット	30人

合計 4953人(前回比約3.9倍)

○概ね6:4で、女性が多い。

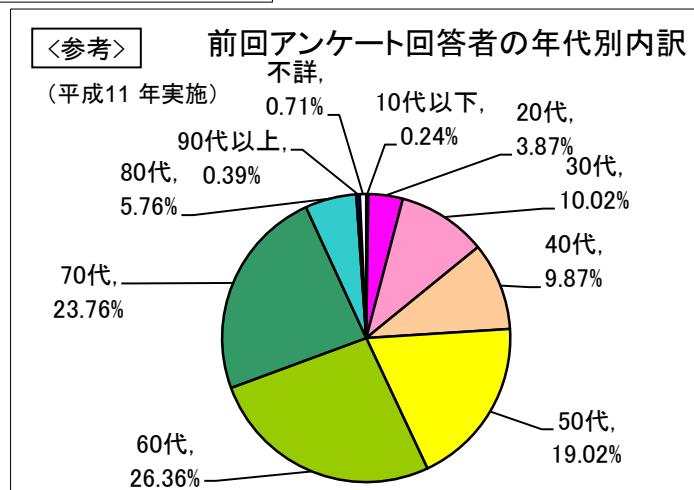


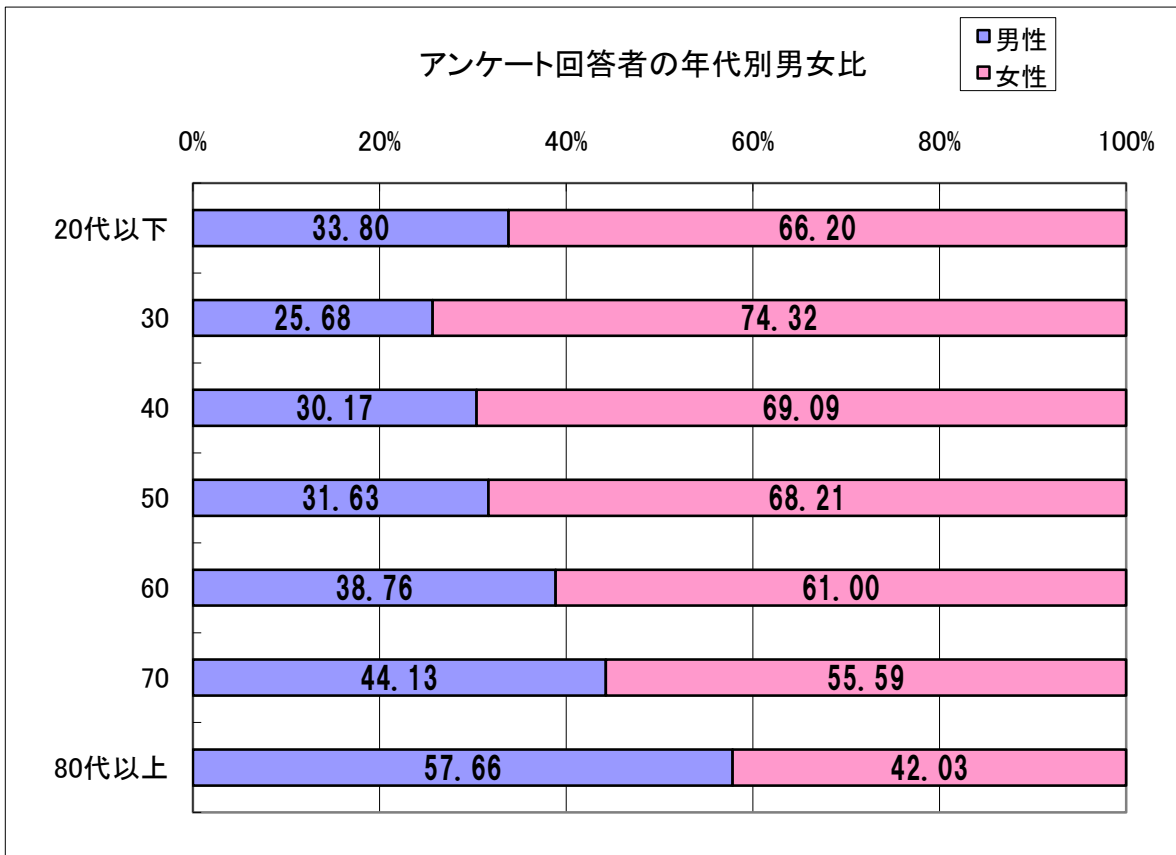
○70代の方が最も多い。

○60代以上の方だけで約7割。

○10歳未満や100歳以上など、幅広い層からの回答があった。

※ 10代以下及び90代以上は、母数が少ないことから、以下の年代別分析は、それぞれの人数を20代以上、80代以上に加えて行う。

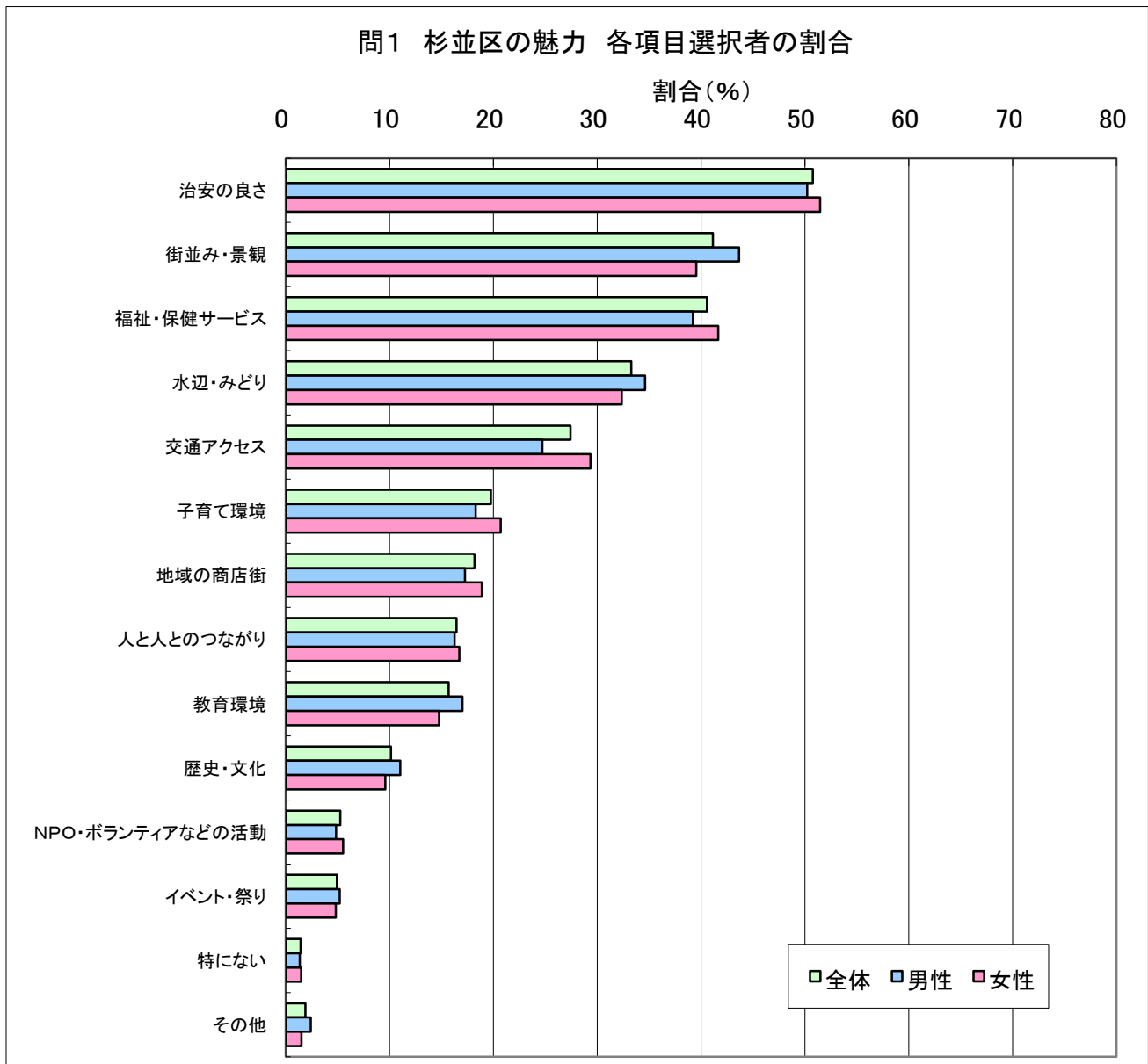




○70代までは女性の比率が高い。

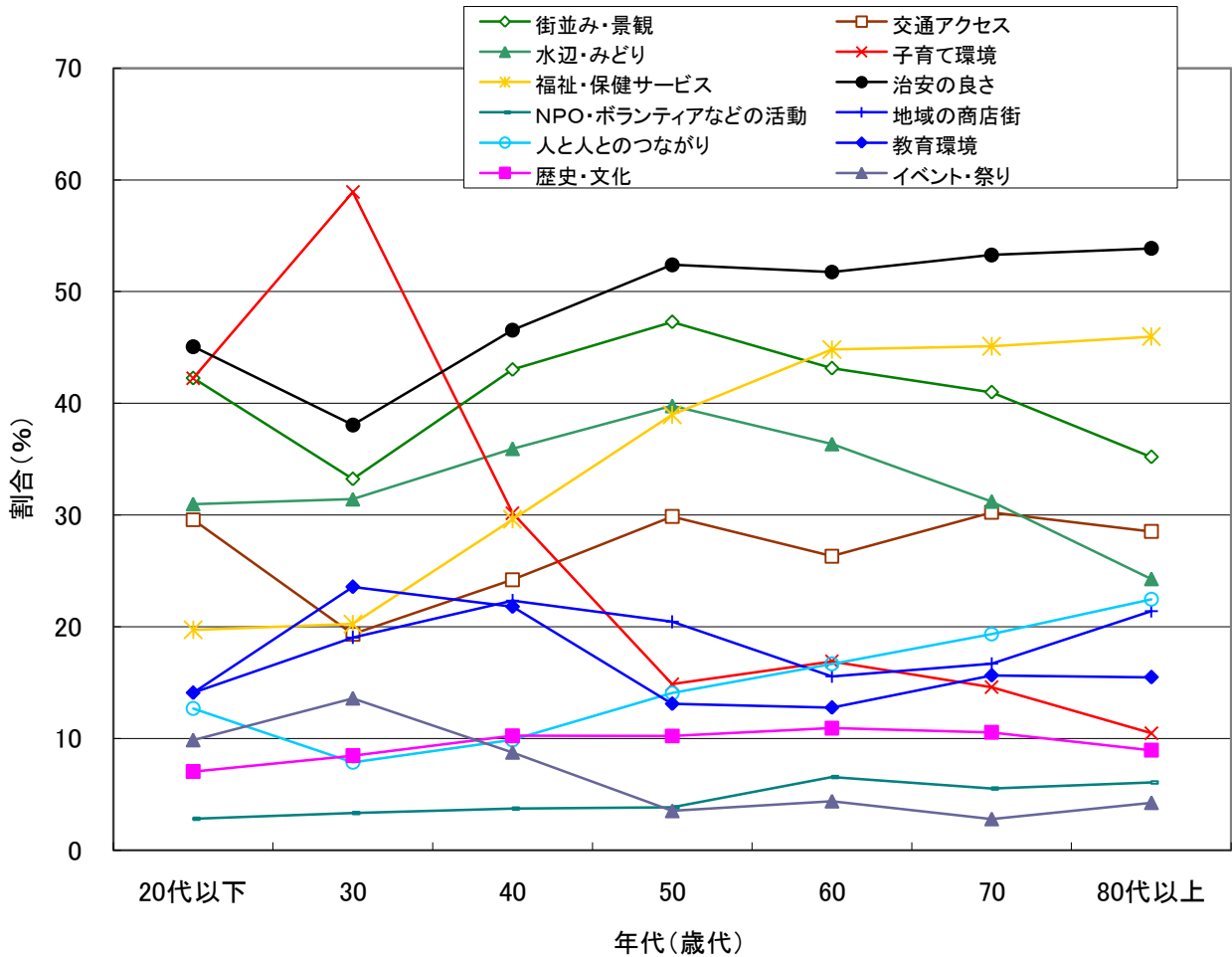
○80代以上では男性の比率が高い。

問1 あなたにとって、大切にしたいと思う杉並区の魅力は何ですか。(3つまで複数回答)



○「治安の良さ」が男女ともに最も多く、次いで「保健・福祉サービス」「街並み・景観」「水辺・みどり」「交通アクセス」となっている。

問1 杉並区の魅力 各項目選択者の割合(年代別)



○「子育て環境」を魅力と感じる割合は、30代が最も高い。

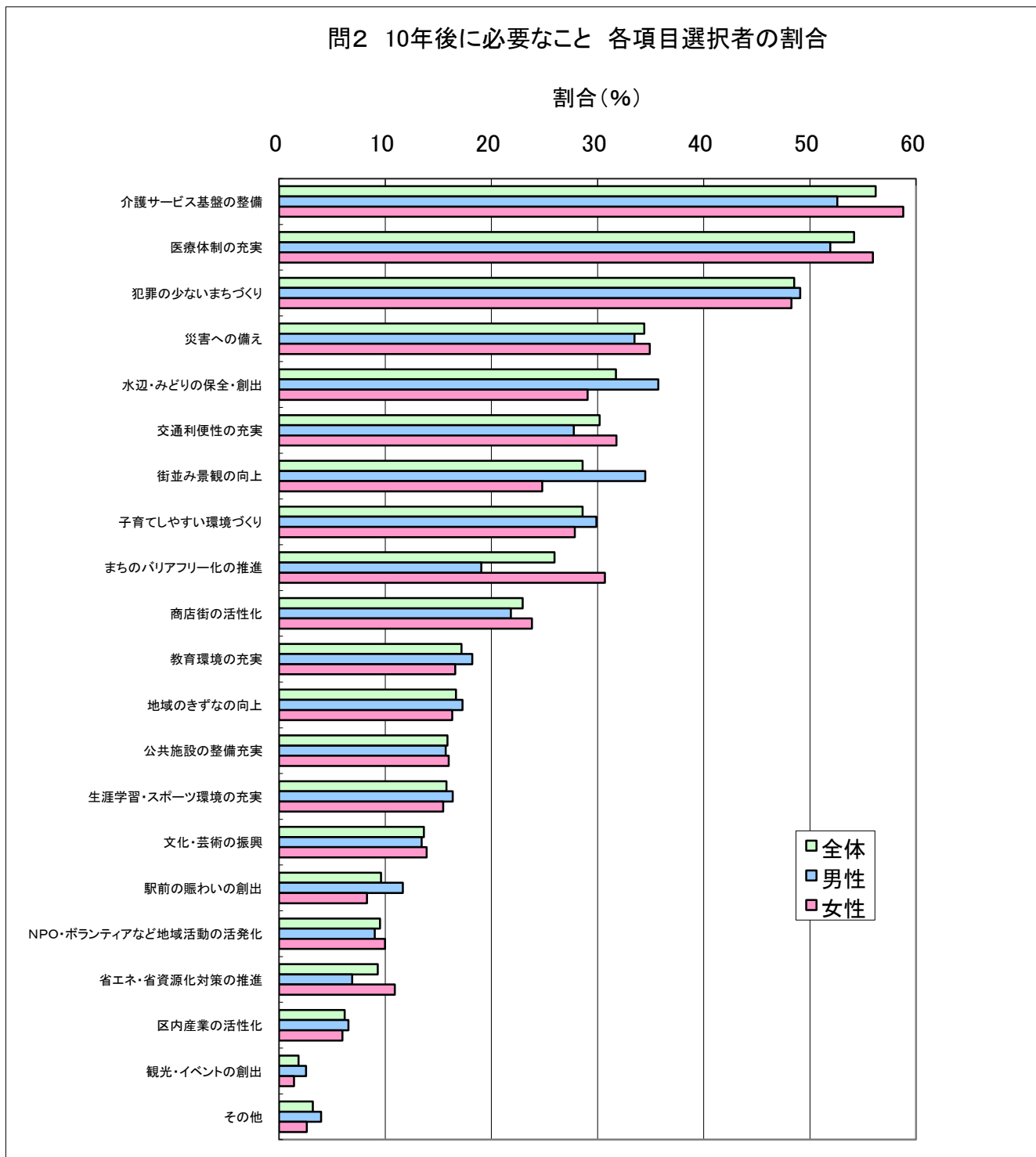
○子育てが一段落する50代以降の方々にとっては、魅力と感じる方の割合が大きく下がる。

○「福祉・保健サービス」については「子育て環境」と逆の結果となっており、介護などの福祉・保健サービスを身近に感じる機会が多くなる年代に向かって魅力と感じる割合が高くなる。

○最も割合の高かった「治安の良さ」については、各年代で割合が高くなっており、特に年代が上ると魅力を感じる方の割合も高くなっている。

○街並みや水辺などの景観に最も関心を示しているのは50代の方々で、他の項目と異なる傾向が見られる。

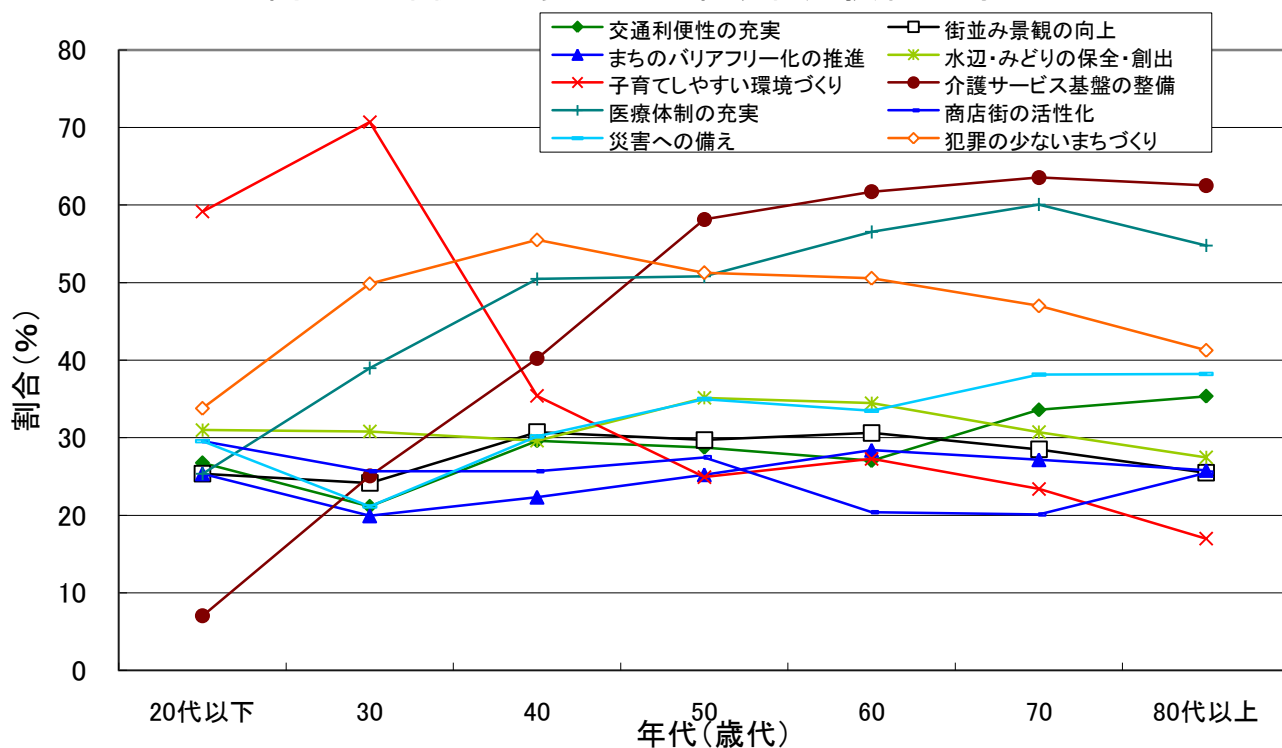
問2 10年後もあなたが住み続けたいと思うまちにするためにどんなことが必要だと思いますか。(5つまで複数回答)



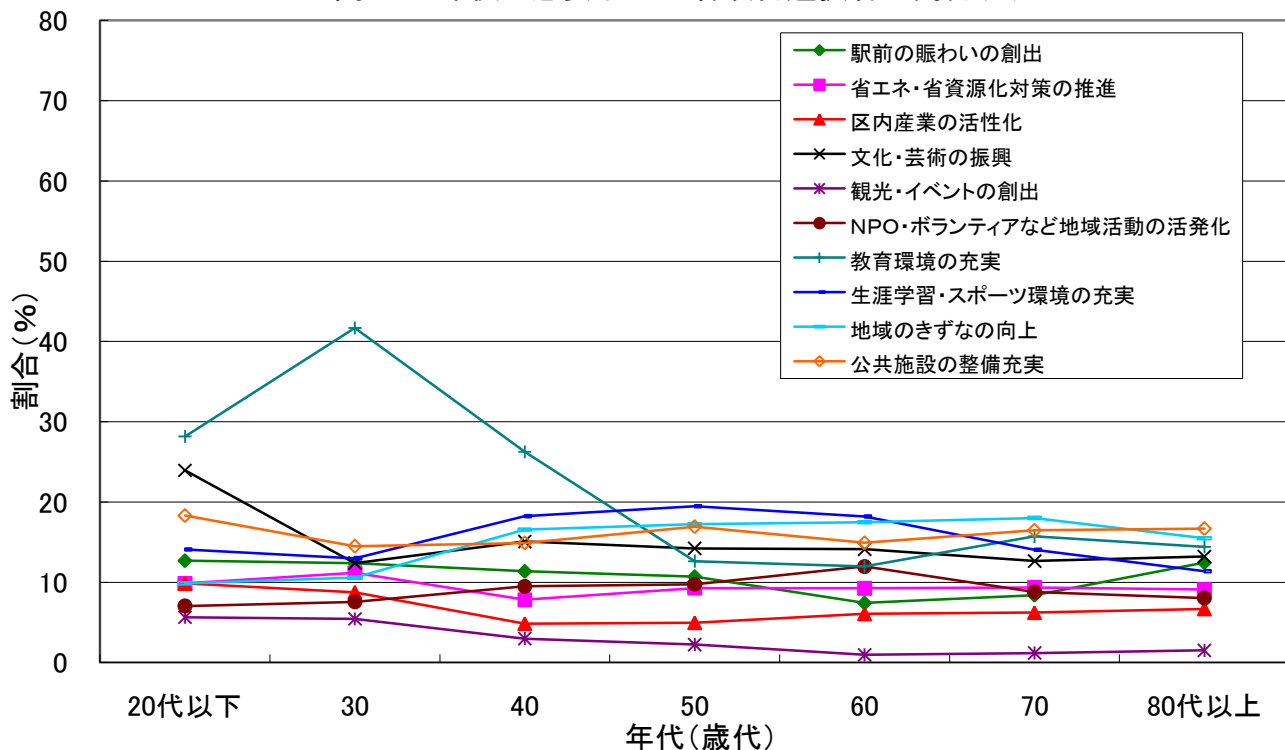
○「介護サービス基盤の整備」「医療体制の充実」といった、福祉保健分野が非常に高くなっており、次いで「犯罪の少ないまちづくり」「災害への備え」となっている。

○問1で割合の高かった、「水辺・みどりの保全・創出」「交通利便性の向上」「街並み・景観の向上」はその後に続く。

問2 10年後に必要なこと 各項目選択者の割合(1)



問2 10年後に必要なこと 各項目選択者の割合(2)



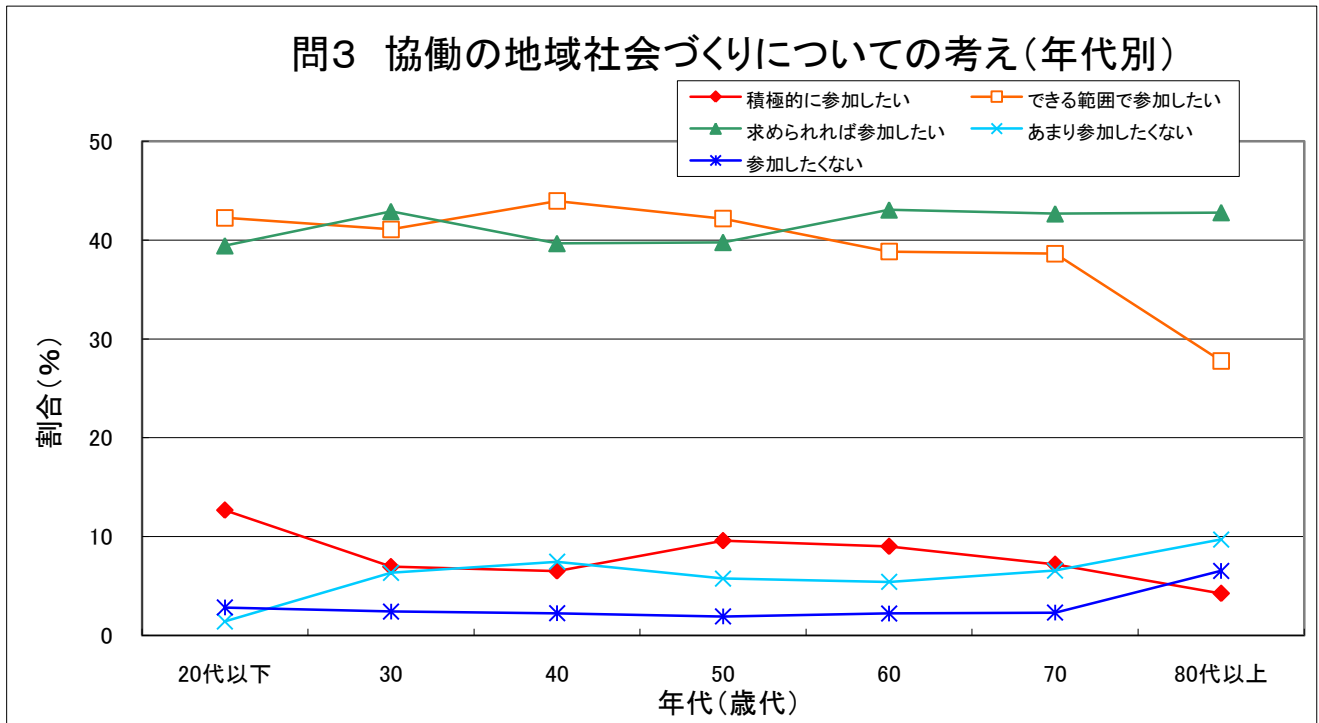
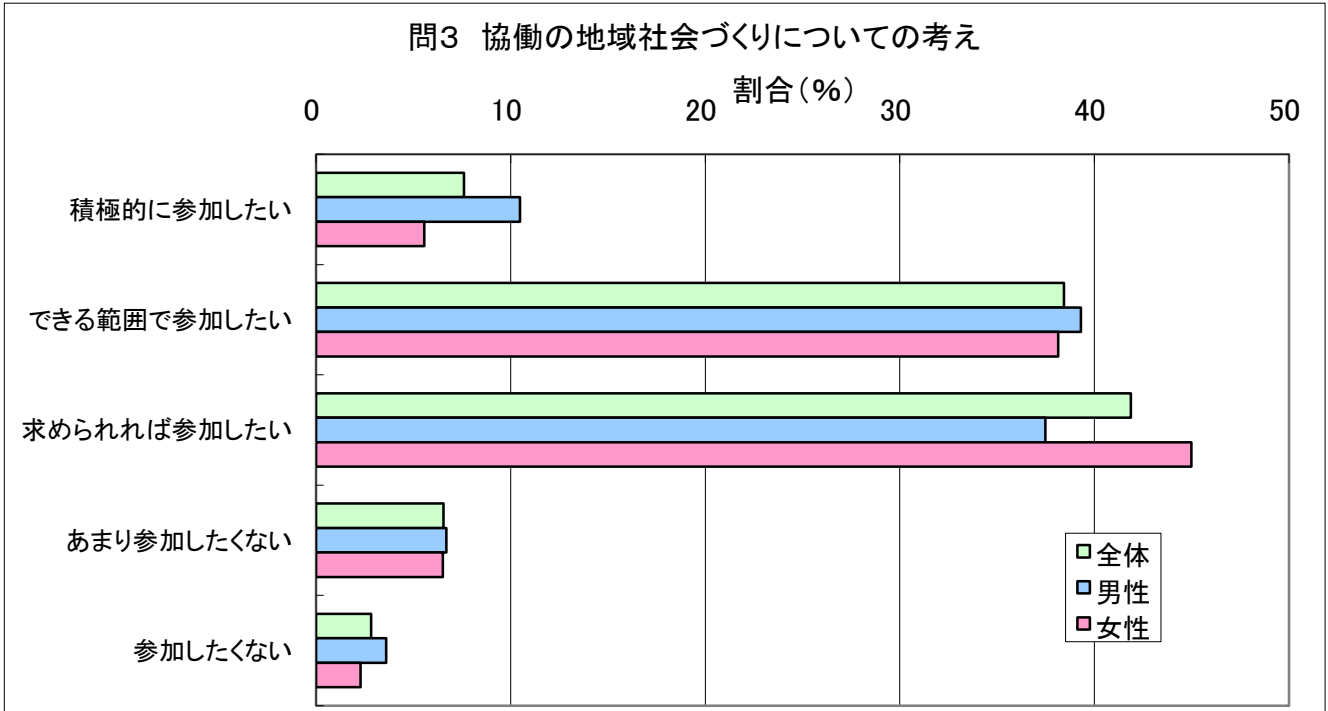
○20代から30代の方々にとっては、問1と同様、「子育て環境の充実」が非常に高い割合になっている。

○20代の割合が問1よりも増加している。

○「介護」「医療」などの福祉分野では、40代以後の方々で割合が高くなる。

○「子育て環境」と同じ傾向は、「教育環境」についても同様に現れている。

問3 協働の地域社会づくりについて、あなたのお考えに最も近いものを挙げてください。

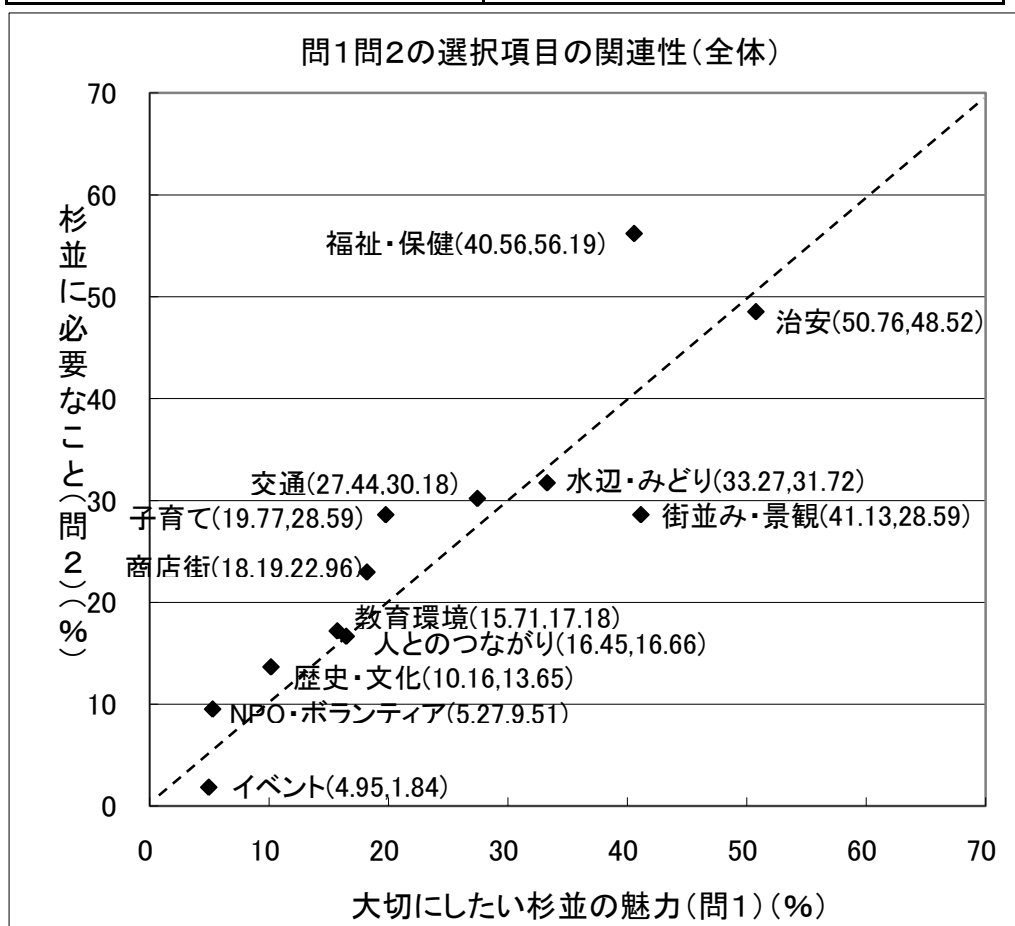


○年代に関係なく、8割以上の方が地域社会への参加意向を示している。

問1と問2の回答結果の関連性について

問1及び問2の項目の対比

問1の項目	問2の項目
街並み・景観	街並み景観の向上
交通アクセス	交通利便性の充実
水辺・みどり	水辺・みどりの保全・創出
子育て環境	子育てしやすい環境づくり
福祉・保健サービス	介護サービス基盤の整備
治安の良さ	犯罪の少ないまちづくり
NPO・ボランティアなどの活動	NPO・ボランティアなど地域活動の活発化
地域の商店街	商店街の活性化
人と人とのつながり	地域のきずなの向上
教育環境	教育環境の充実
歴史・文化	文化・芸術の振興
イベント・祭り	観光・イベントの創出



※ 散布図の見方: 福祉・保健(40.56,56.19)

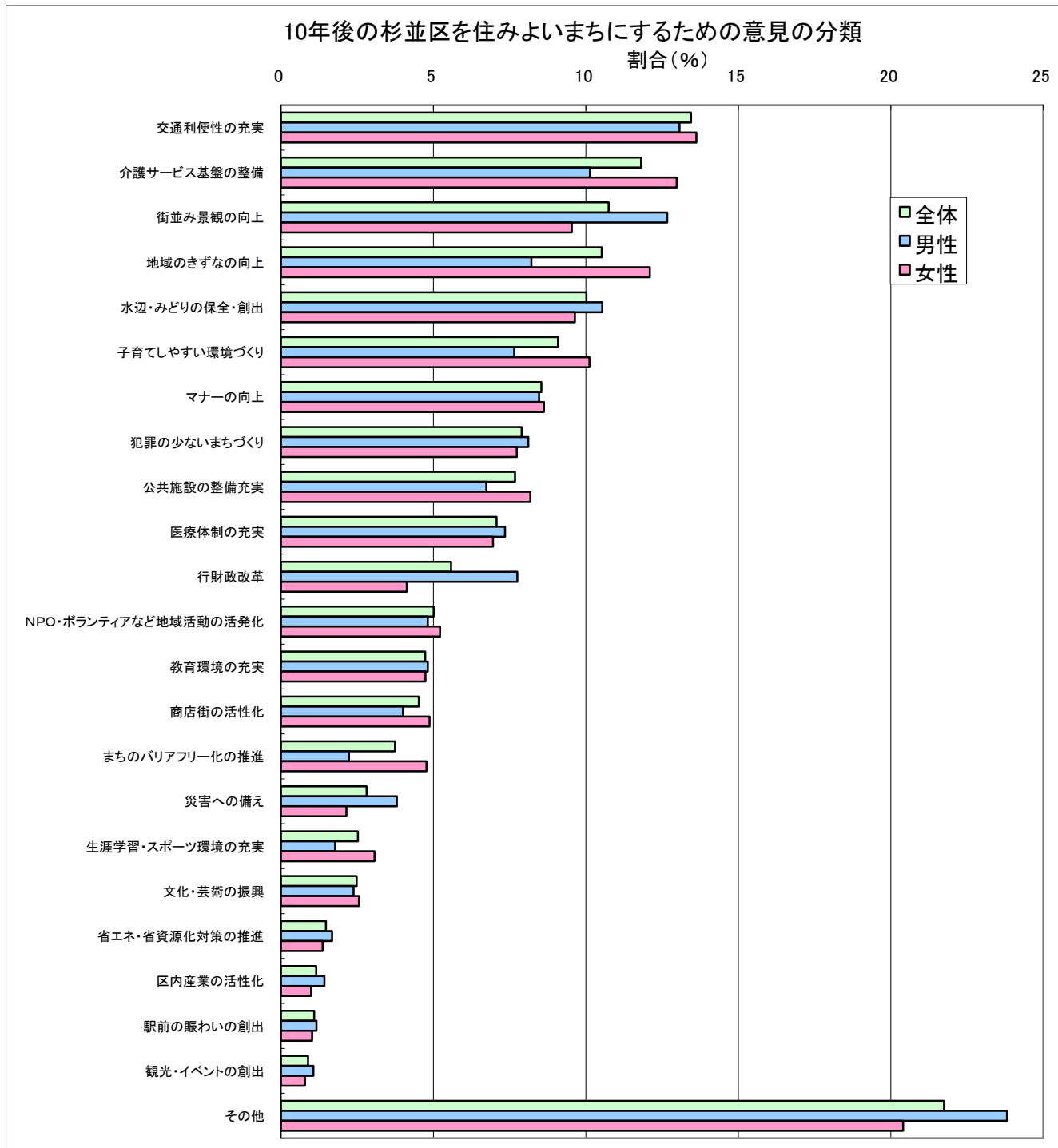
└─ 「10年後に必要なこと」選択者の割合

└─ 「大切にしたい杉並区の魅力」選択者の割合

・回答項目を上記の表のように対比させ、問1の結果を横軸に、問2の結果を縦軸にして、結果を表示する。

・斜めに線を引くと、線より下になると、10年後の必要性以上に現在魅力と感じている傾向が強く、逆に線より上になると、現在の魅力以上に10年後に必要なと考える傾向が強いといえる。

10年後の杉並区を住みよいまちにするために、あなたのご意見をお寄せください。(自由意見欄)



・意見を問2の選択肢の分野で分類
 ・問2の選択肢にはないものの、「行財政改革」「マナーの向上」についてのご意見が多かったため、分類の項目を追加

○問2で最も割合の高かった「介護」より「交通利便性」に対してのご意見が最も多い。
 ○次いで「介護」「街並み・景観」「地域のきずな」が多くなっている。
 ○「地域のきずな」や「マナーの向上」など、より身近な事柄に対してのご意見が多い。

10年後の杉並区を住みよいまちにするための主なご意見

まちづくり

- 交通利便性の充実
 - ・狭い道路を広く整備し、自転車専用道路なども設置して歩行者が安全に歩けるようにする。
 - ・コミュニティバスについて、増便やルートへの延伸、ルートの新設などを行い、区内の移動がしやすいようにする。
- 街並み景観の向上
 - ・電柱、電線の数が多く、景観が良くないので、電柱、電線、電話線を地中化する。
 - ・地域全体に緑を増やし、落ち着いた景観づくりをする。
 - ・落ち着いた街並みを維持するため、広い土地を分割して小さな家を建てるような開発をしない。
- まちのバリアフリー化の推進
 - ・歩道の段差をなくすなどして町全体のバリアフリー化を進める。
- 駅前への賑わいの創出
 - ・若者を含めた多くの人々が集まるように、魅力的な駅前周辺整備を進める。
- 水辺・みどりの保全・創出
 - ・河川流域などの今ある緑を保全し、地域の心地よい自然環境を残していく。
 - ・農業体験農園を開設し、区民が気軽に利用できるようにする。
- 省エネ・省資源化対策の推進
 - ・区が補助を行い、生ごみ処理機を各戸で導入する。
- 公共施設の整備充実
 - ・駅前に大型駐輪場を整備し、放置自転車をなくす。
 - ・今の公園はルールが多すぎて子どもが遊べないので、子どもが遊べる公園をつくる。

保健・福祉

- 子育てしやすい環境づくり
 - ・保育施設や学童クラブの充実を図り、子育てしやすい環境をつくる。
 - ・子育て相談できる人を各地域に設置し、地域で課題を解決できるようにする。
- 介護サービス基盤の整備
 - ・高齢者住宅の整備など、地域で住み続けられる基盤を整備する。
 - ・在宅で介護している家族の支援を充実させる。
 - ・一人暮らし高齢者の見守りサービスを拡充し、いつまでも安心して生活できるようにする。
- 医療体制の充実
 - ・予防接種に対する助成を拡充する。
 - ・在宅介護者に対する往診体制を確立する。

地域づくり

- 商店街の活性化
 - ・地域の商店街が元気になるような施策を実施する。
- 区内産業の活性化
 - ・法人税を安くして企業を誘致する。

- 観光・イベントの創出
 - ・緑が豊かで文化にあふれた杉並の良さを一人でも多くの区民に体感してもらえるようなイベントを実施する。

- NPO・ボランティアなど地域活動の活発化
 - ・高齢者の豊かな経験と知識を新たな協働の地域社会の構築に活かす。
 - ・区でボランティア参加者を募集し、気軽にボランティアに参加できるしくみをつくる。

- 地域のきずなの向上
 - ・いろいろな年代の人が住み続けられるよう、地域の人とのつながりと助け合いで生きていけるようにする。
 - ・近所のつながりがあれば住み良くなるので、地域の人が自然に言葉を交わす機会をつくる。

- マナーの向上
 - ・自転車の走行やペットの飼い方、喫煙などのマナーの向上を進める。
 - ・歩きたばこ禁止を区内全域で実施する。

教育・文化

- 文化・芸術の振興
 - ・アートイベントを区内商店街の参加型で実施する。
 - ・アニメ文化の高度技術を認識して、子ども達の夢を育てる。
- 教育環境の充実
 - ・他区との特異性を出した教育を実施する。
 - ・地域でのつながりを重視するため、学校選択制を改め、学区を元に戻す。
- 生涯学習・スポーツ環境の充実
 - ・廃校を活用して生涯学習やスポーツができる環境を作る。

防災・防犯

- 災害への備え
 - ・善福寺川流域の水害対策を進める。
 - ・災害発生時の独居老人への支援体制を構築する。
- 犯罪の少ないまちづくり
 - ・防犯パトロールを強化するなどして、犯罪が少なく、安心して住めるまちにする。

区政運営

- 行財政改革
 - ・より一層効率的な行政運営を行い、区民サービスのさらなる充実につなげる。
 - ・区の支出を念頭に置いた区政ではなく、借金は増やさず民間の力を活用する発想をもっと取り入れる。
 - ・区の役割は必要最小限として、区民に負担の少ない小さい区行政とする。

その他

- ・今、住み心地が良いので、今の状態を持続してほしい。
- ・今回のアンケートに対するご意見(定期的にすべき、税金の無駄遣いだ、など)
- ・施策や条例、事業に関するご意見、区長への期待やご意見

区民アンケート実施の概要

- 実施方法
 - ・平成22年11月21日付で区民アンケートのみを掲載した広報すぎなみ臨時号を発行。
 - ・同日から区ホームページにインターネットアンケートを掲載
- 募集期間
平成22年11月21日から12月12日
- 回答方法
 - ・郵送：広報すぎなみに掲載した回答用はがきを切り取り、投かん
 - ・インターネット：専用のページにアクセスし、ページに入力して回答
- 広報配布方法
 - ・新聞折込み(朝日新聞・読売新聞・東京新聞・産経新聞・毎日新聞・日本経済新聞)、広報スタンド

<広報スタンド設置場所>

 - ・区立施設
 - ・区内郵便局
 - ・区内コンビニエンスストア(「ファミリーマート」・「サークルK」・「サンクス」・「ミニストップ」・「セブン-イレブン」・「ローソン」の全店舗)
 - ・区内公衆浴場
 - ・区内スーパーマーケット(「サミットストア」・「コープとうきょう」の全店舗)
 - ・駅(区内など)
- 発行部数
約204,000部

<参考>

21世紀ビジョン(現行基本構想)区民アンケート

- 実施方法・回答方法は、今回のアンケートと同様(ただし、インターネットアンケートは未実施)
- 募集期間 平成11年11月11日から11月30日
- 広報配布方法 新聞折込み、広報スタンド(区立施設、駅のみ)
- 広報発行部数 約200,000部
- 質問項目
 - 1 21世紀の杉並区が大切にすべきことがらを表す言葉として、最もふさわしいと思われるものを3つ以内で選んでください。
 1. 心の豊かさ 2. 健康 3. 自己責任 4. 杉並らしさ 5. 共に生きる 6. 人と人との結びつき
 7. 公德心 8. 文化 9. 環境 10. 人を育てる 11. 他への思いやり 12. 安心 13. みどり
 14. 福祉 15. 情報 16. その他(具体的に)
 - 2 杉並区がめざすべきまちづくりの方向として、あなたの望むまちに近いと思われるものを3つ以内で選んでください。
 1. 情報通信分野など新しい産業が育つ活力のあるまち
 2. 環境に配慮し、省資源・リサイクルに積極的に取り組むまち
 3. 交通の便がよく、人々が集まる活気あるまち 4. だれもが文化・芸術・スポーツ活動に親しめるまち
 5. 緑の多い静かな環境に囲まれた住宅のまち 6. ボランティアなどの自主的な活動が盛んなまち
 7. 近隣とのふれあいや交流の盛んなまち 8. 保育や教育環境が充実した子育てのしやすいまち
 9. 福祉が充実し、安心して健康に暮らせるまち 10. 生涯学習が盛んで、人を一生にわたって育てるまち
 11. その他(具体的に)
 - 3 杉並区の地域社会をより良くしていく上で、行政と区民(町会、商店会、ボランティア・グループ、NPOなどの区民の団体を含む)との関係は、今後どのようにあればよいと思いますか。あなたの意見に最も近いものを選んでください。
 1. まちに住む一人ひとりの区民の自主的な活動が最も大切である。行政は、このための活動の場の確保など、環境の整備に重点を置くべきで、関わりは少なくすべきである。
 2. 区民と行政が対等のパートナーとしてそれぞれ役割を果たしながら、お互いに協力・協働していくことが望ましい。
 3. 地域社会のつながりが弱体化した今日、新たな地域社会づくりのために、行政は積極的にリーダーシップを発揮すべきである。